

<日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携 北海道・東北ブロック会議>

令和6年(2024年)10月12日(土)ホテルメトロポリタン秋田



北海道医師会医師キャリアサポート 相談窓口の取り組みについて

北海道医師会 常任理事
長谷部 千登美
医療関連事業部 副部長

北海道医師会 医師キャリアサポート相談窓口 北海道中央区大通西6丁目 北海道医師会館



0120-112-500

(受付時間 月～金 9:00～17:00) FAX. 011-231-7272

詳しくは専用ホームページをご覧ください

<http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>



本日の説明ポイント

1

当相談窓口について(窓口の設置、各地域のCN、実績)

2

最近の相談事例

3

直近の活動内容

1. 北海道医師会

医師キャリアサポート相談窓口について

2011年6月15日…「**女性医師相談窓口**」を開設

- ・北海道の補助金を財源に、女性医師等就労支援事業の一環として開設
- ・社会の働き方改革の動きや、多様な働き方のニーズに対応した就業、男女共同参画の意識の高まりなどを背景に、パパドクターの育児登録など年々、相談内容の多様化や相談対象者の意識が変化

2019年度…名称を現在の「**医師キャリアサポート相談窓口**」へ変更

- ・女性医師に限らず、全ての医師からのキャリア相談、医師が働きやすい勤務環境の整備、定年退職後の雇用継続など医師全体を支援する活動にシフト



ドクターの『働く』を全力応援!!

北海道医師会

医師キャリアサポート相談窓口

2. コーディネーター（21名）について

性別	男性：6名、女性：15名
北海道医師会	役員：5名
勤務形態	開業：10名 一般病院勤務：4名 大学病院勤務：7名
勤務地	札幌：5名、旭川：3名、函館：2名、小樽：2名、 岩見沢：1名、釧路：1名、北大：3名、 札幌医大：2名、旭川医大：2名
専門診療科	内科：8名、産婦人科：2名、精神科：2名 整形外科：1名、小児科：1名、皮膚科：2名、 耳鼻咽喉科：1名、泌尿器科：2名、 基礎（解剖）：1名、脳神経外科：1名

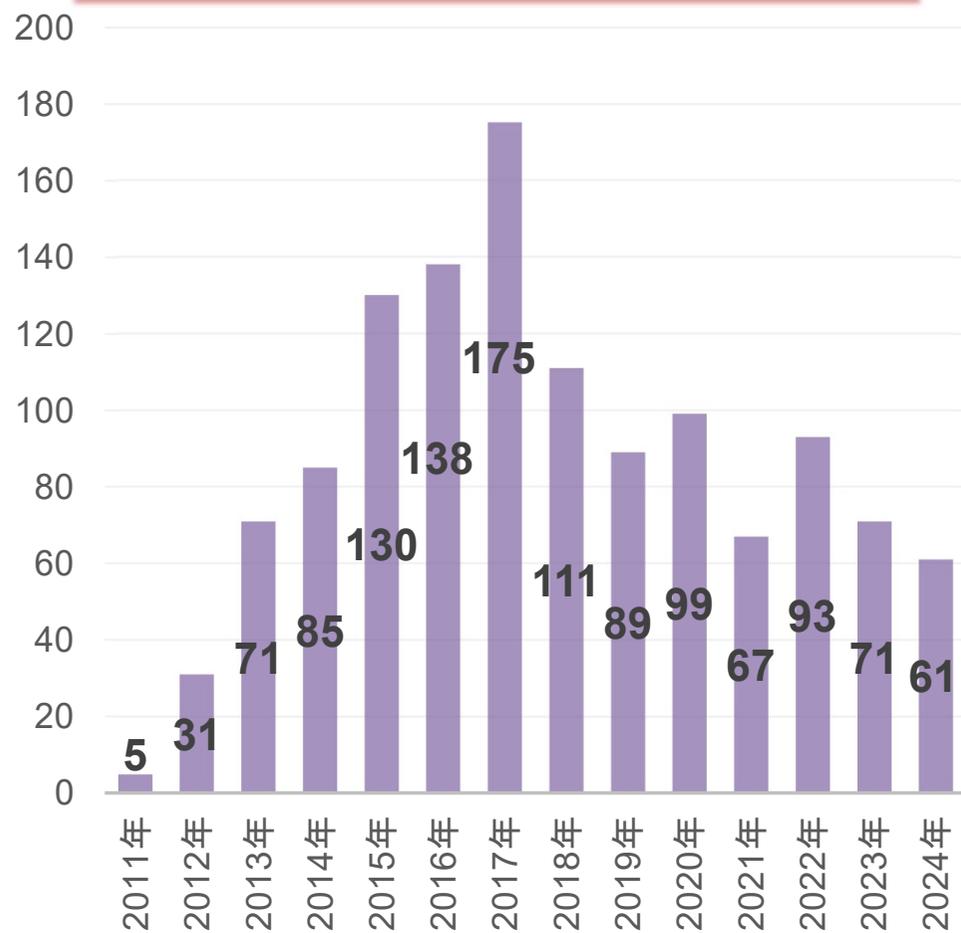
- ★広域な北海道のどこでも対応可能とするため、札幌・函館・小樽・旭川・釧路等各主要地区に配置し、多種多様な相談に対応
- ★相談者の専門性や勤務地などを考慮して、各診療科から選出

3. 事業の柱

	事業名	概要	開始年月日	実績
1	育児サポート事業	信頼のおける育児支援事業者と連携し、保護者に代わって送迎や病児・病児以外においても緊急預かりを手配する。	平成23年6月	事前登録者 139名
2	復職サポート事業	復職を考えている医師と復職研修病院をつなぐ復職サポート。離職期間の長い方でも復職できるようサポート。	平成24年6月	受講者 34名
3	無料職業紹介事業	「職業安定法」に基づく無料職業紹介事業で北海道内に就職を希望する医師に医療機関を紹介する。離職・休職した医師の臨床現場への復帰支援、定年退職後のセカンドキャリア、北海道へのUターン・Iターンを希望する医師などに対応。	平成26年9月	紹介成立者 56名

4. 相談実績

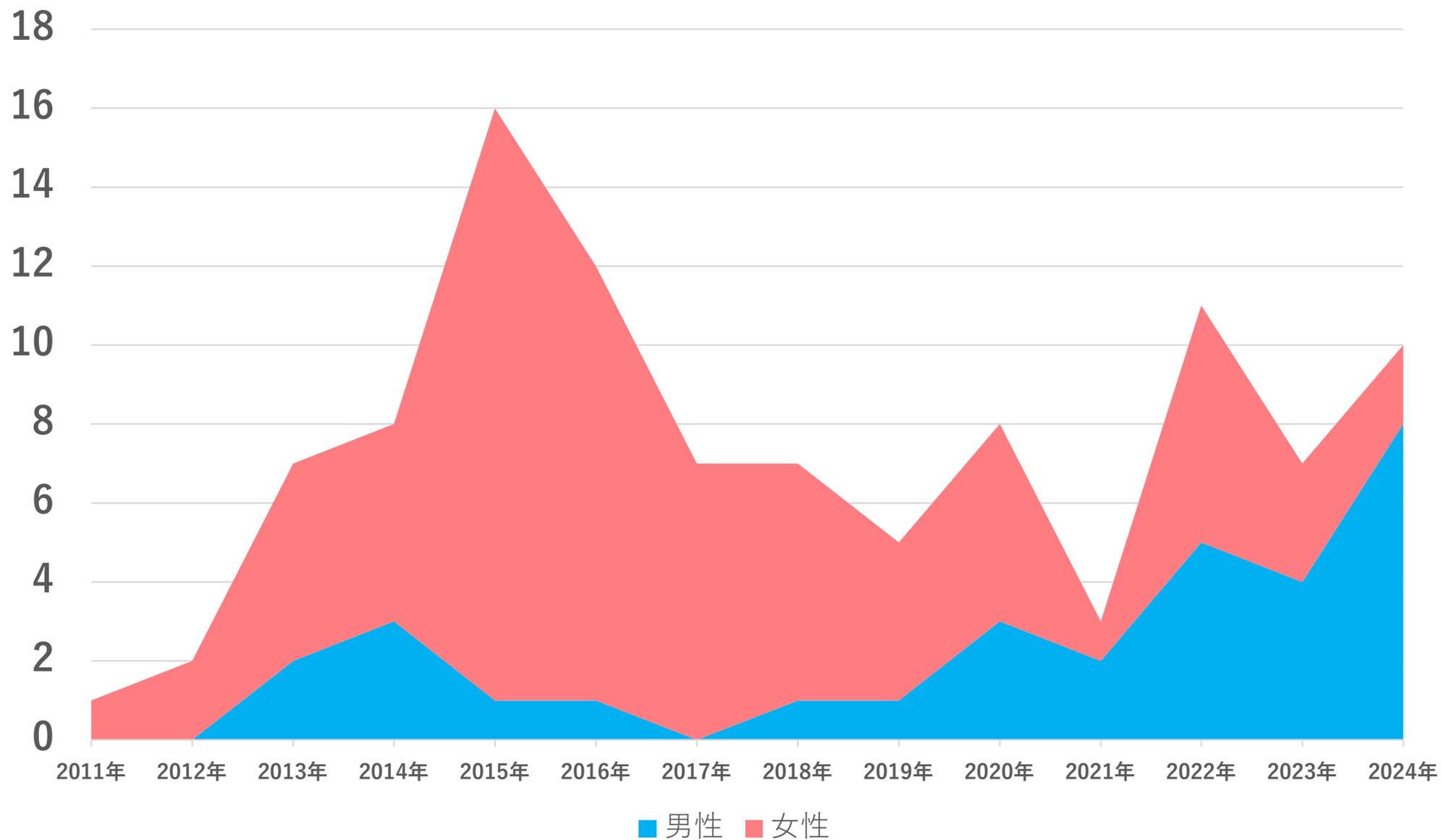
相談実績【件数 1 2 2 6 件】



主な相談内容

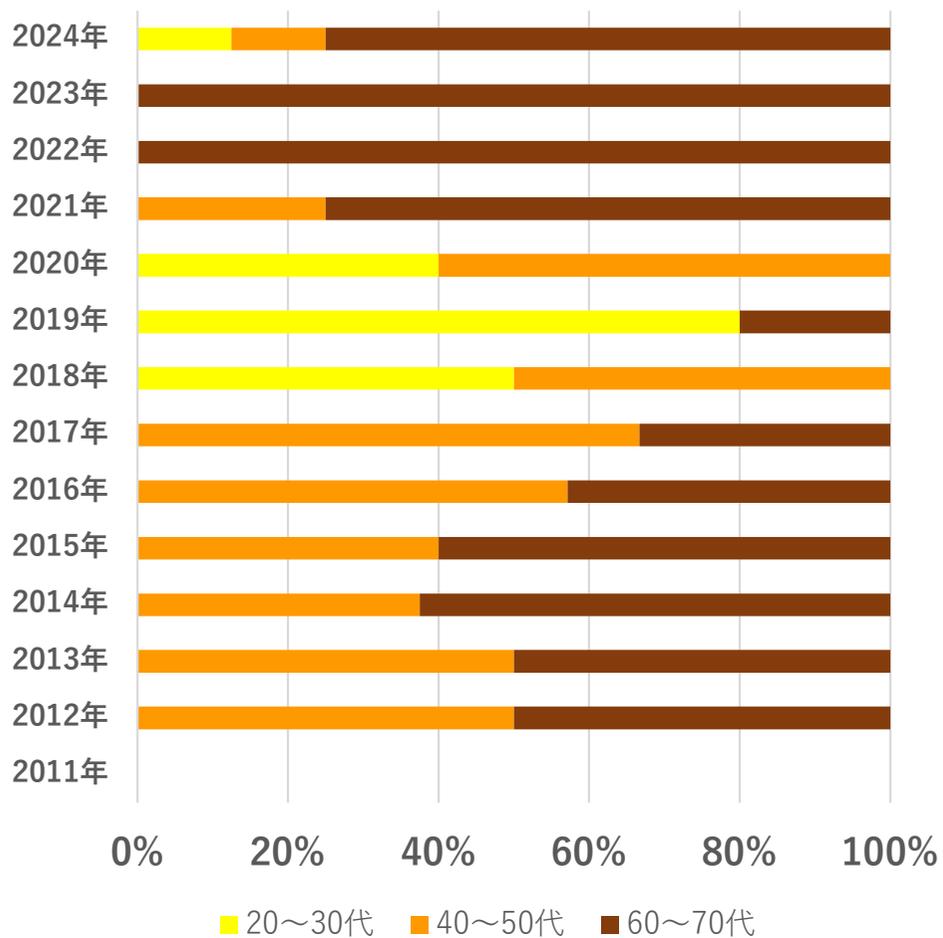


5. 相談窓口利用者の男女比率の推移



6. 相談窓口利用の年代別推移

【男性】

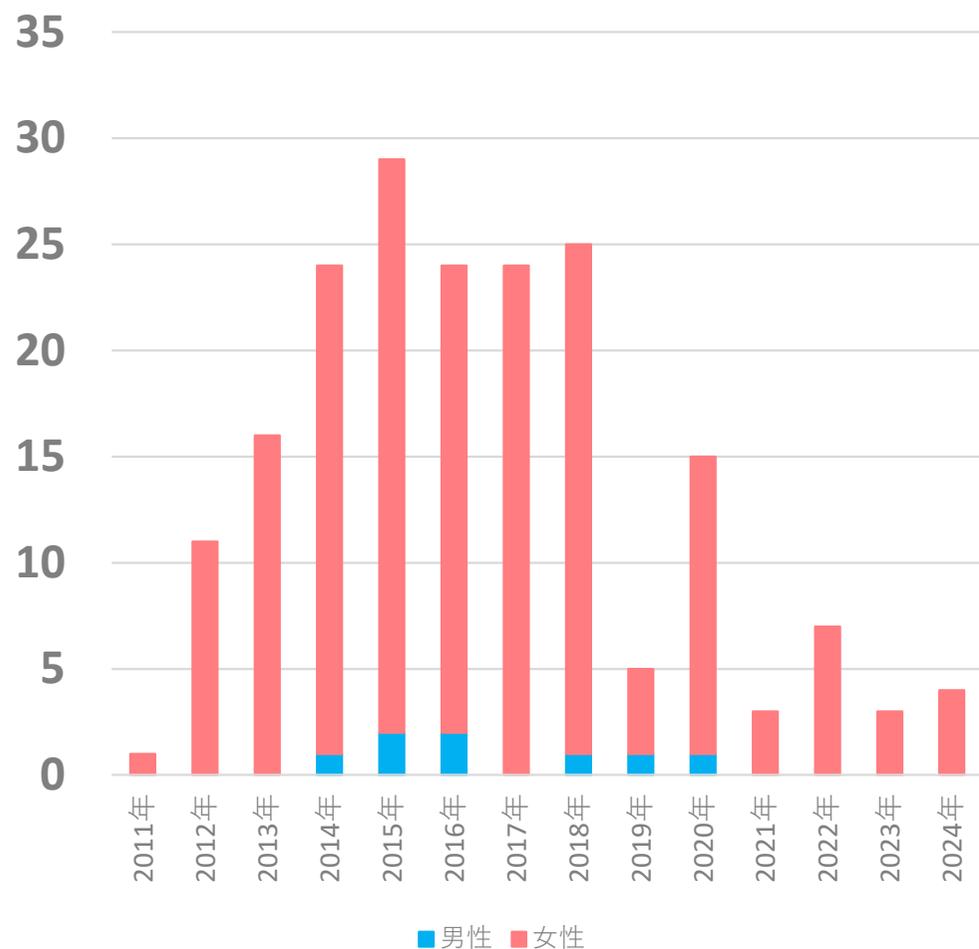


【女性】

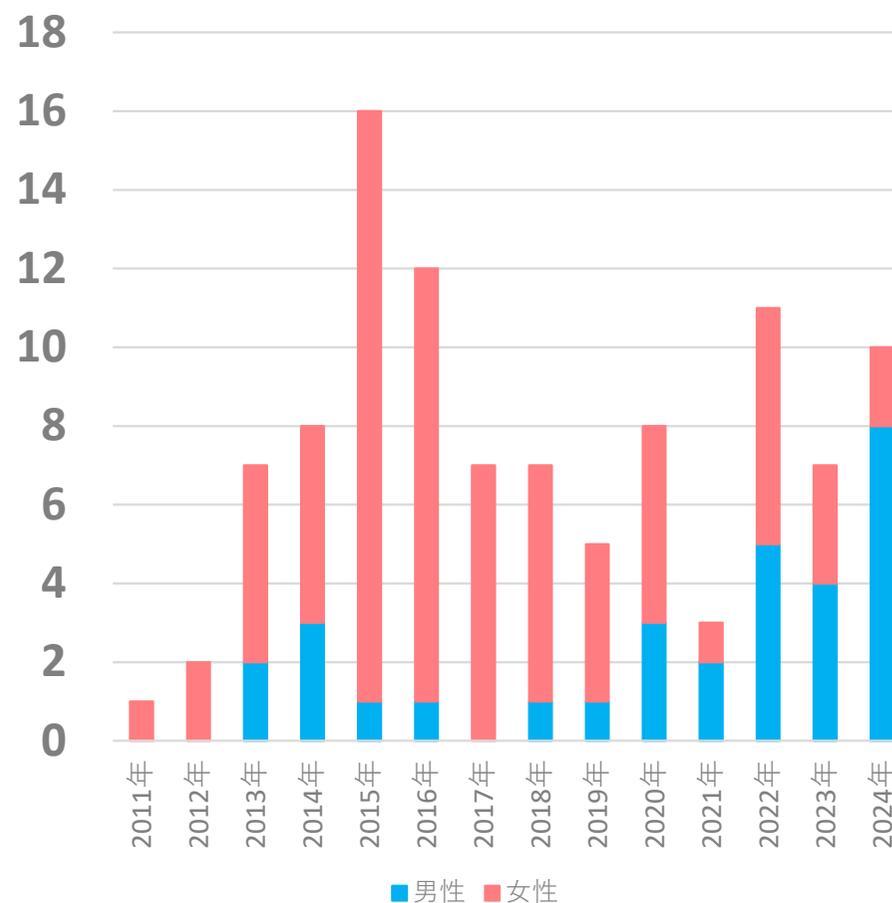


7. 相談内容別男女比較の推移

【育児サポート】



【求職・転職・復職】



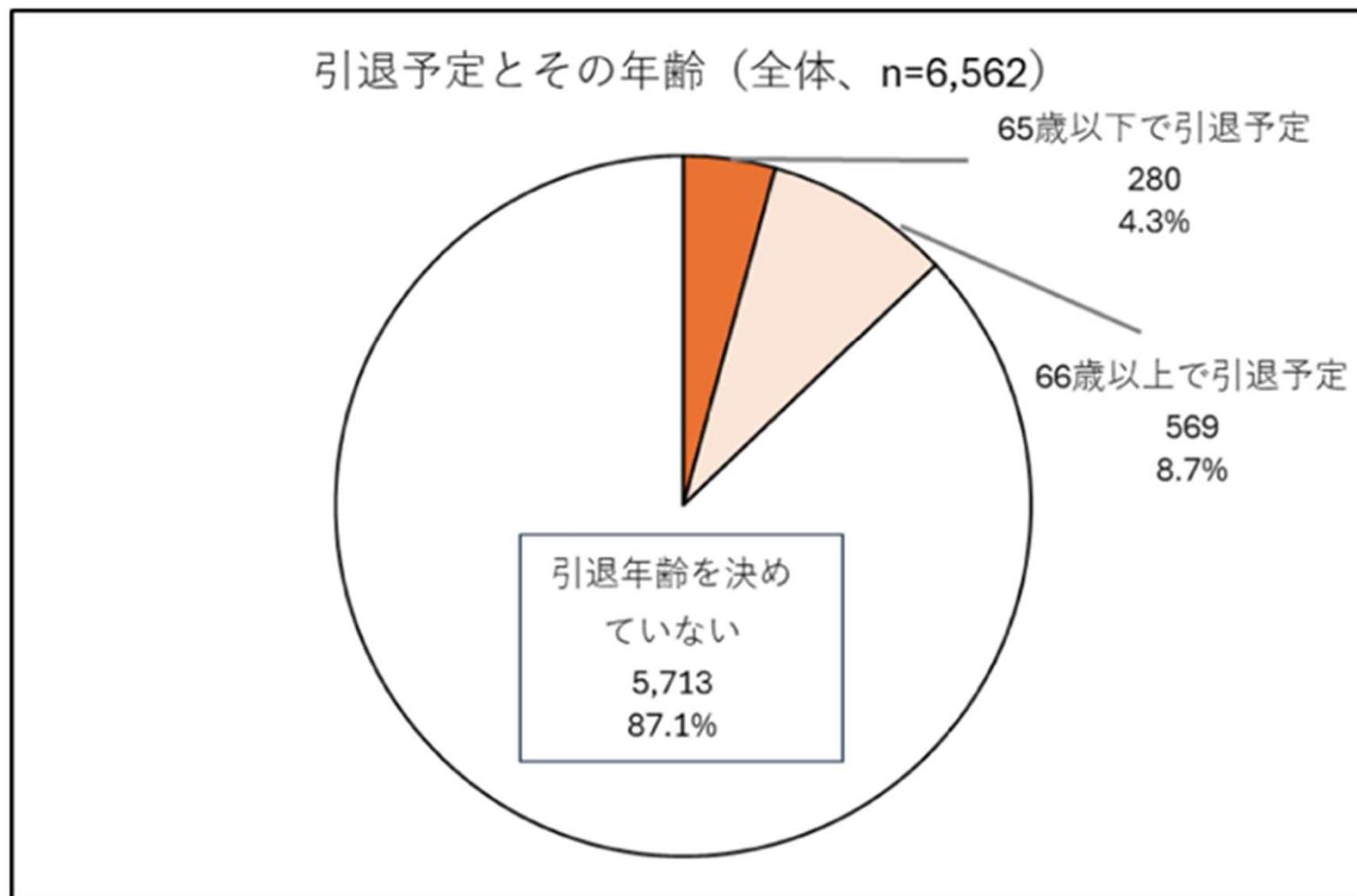
第6回 男女共同参画委員会

50代医師の将来のキャリアプランに関する調査 —結果の概要—

調査目的	<p>シニア世代の医師のさらなる活躍と男女共同参画の推進に向けた具体策の検討と政策提言のための基礎資料として、以下2点を把握すること。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 現在の働き方に関わる状況(2) 将来(65歳以降)のキャリアプラン
------	--

引退予定とその年齢(全体)

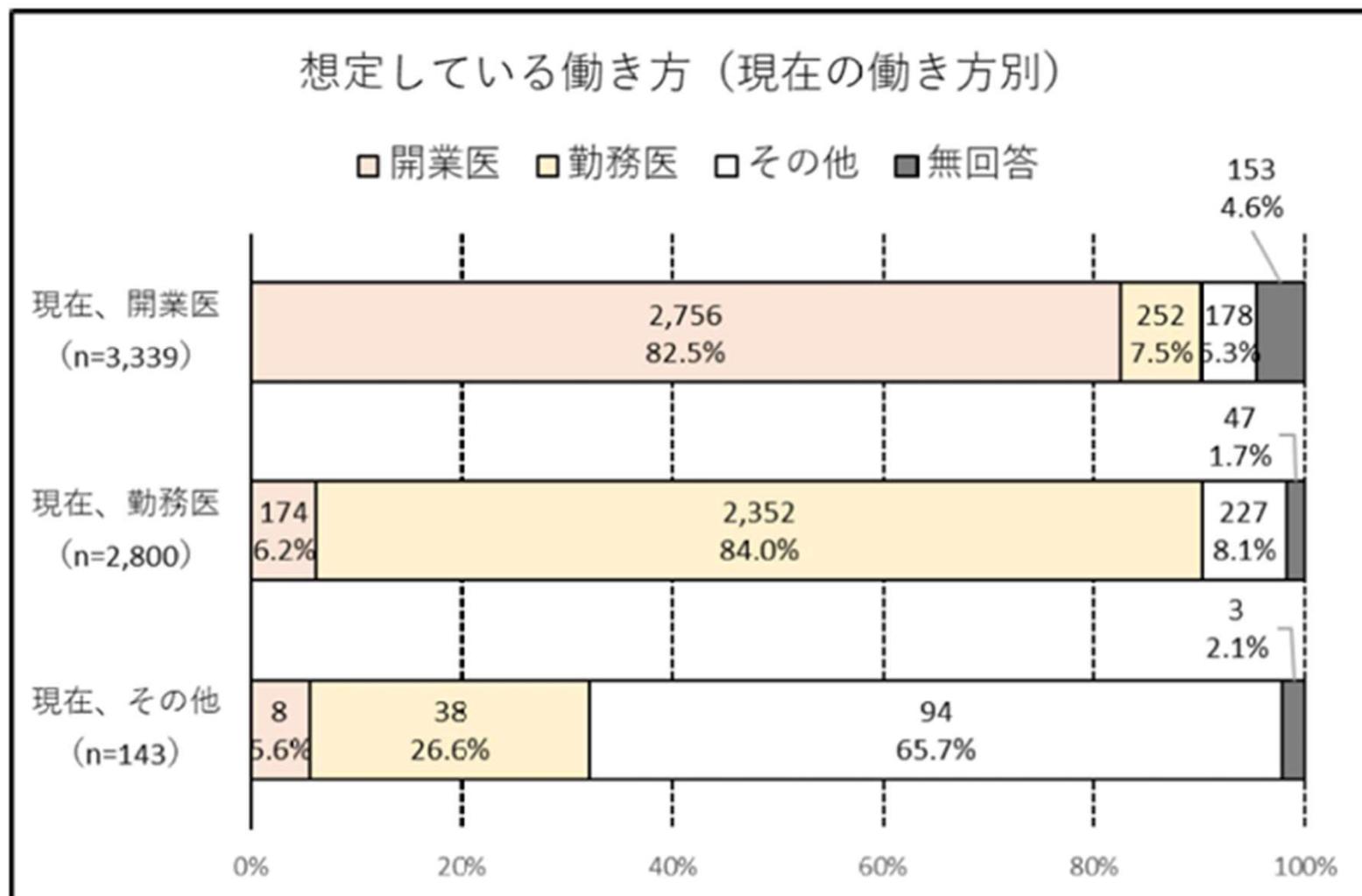
引退年齢を決めていない医師は9割弱。
他方、65歳以下で引退予定が4.3%



※小数点以下の四捨五入の関係で合計がちょうど100%にならない場合がある。

[就労継続者]想定している働き方(現在の働き方別)

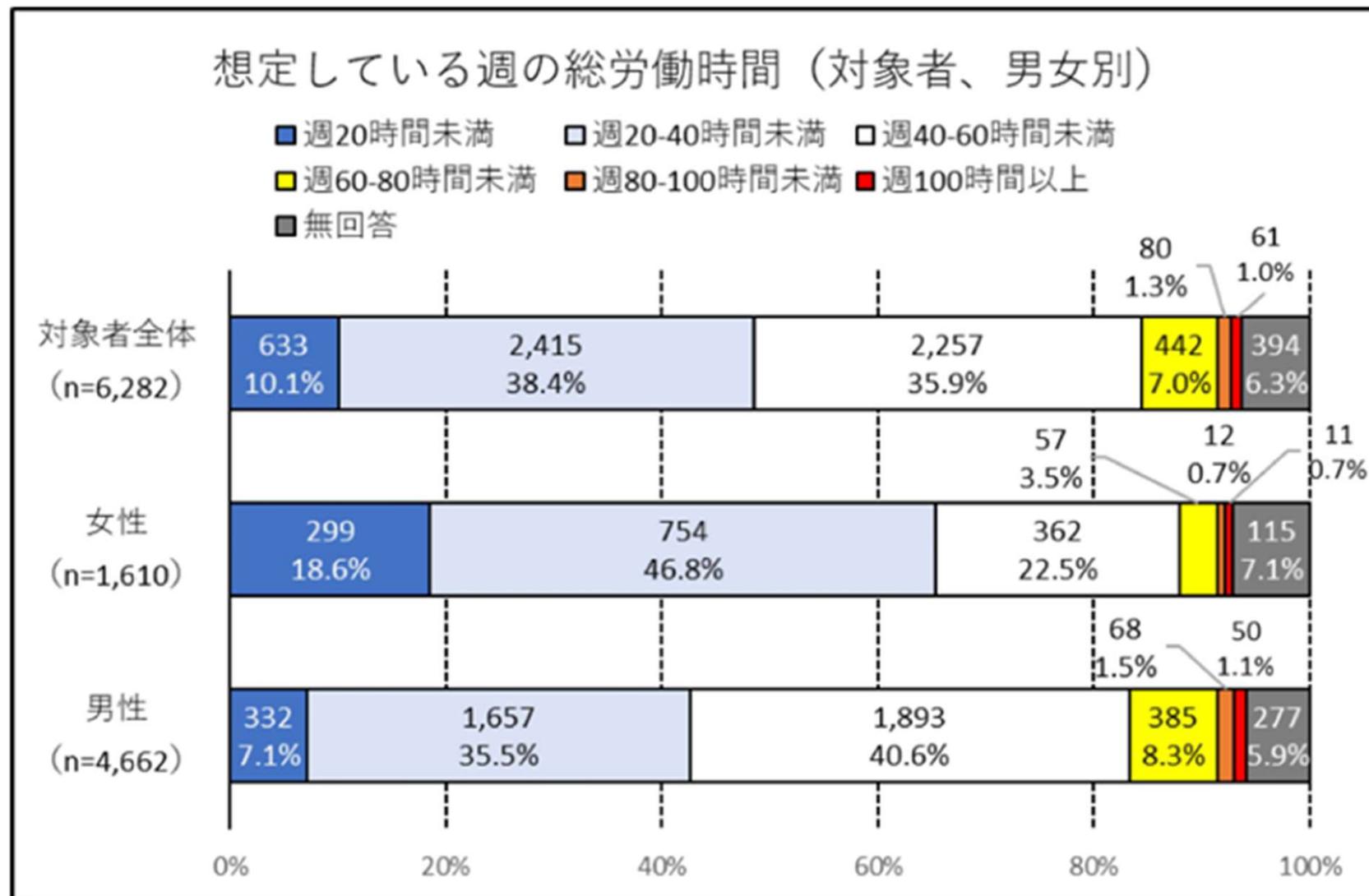
現在と異なる働き方を想定している割合は、開業医で12.8%、勤務医で14.3%、その他で32.2%



その他:産業医、教員、医師以外の職種等

[就労継続者]想定している労働時間(対象者全体、男女別)

65歳以降に想定する総労働時間は、週40時間未満の割合が48.4%
 男女別にみると、女性は男性よりも想定している労働時間が短い



8. 日医総研「50代医師の将来のキャリアプラン調査」結果から

50代医師の大多数が65歳以降に想定するワークスタイルは・・・

- ✓ 現在の働き方（開業医・勤務医・その他）を変えずに
- ✓ 現居住地の近くか、移住しても都市圏で就業し
- ✓ 現在よりも短い労働時間、より休暇を取得しやすい環境で
- ✓ 安定した収入を得ながら
- ✓ 臨床に注力して働き
- ✓ 後進を育てつつ地域医療に貢献する

開業医において長時間労働となっている割合が勤務医よりも高い

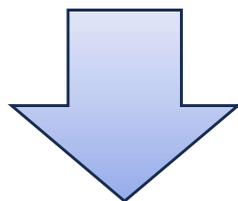
⇒開業医の働き方に対しての公のサポートが必要

定年退職後の働き方

故郷に帰りたい（移住希望）

専門医がいない地域での診療を手伝いたい

取り組んできた医療を継続したい



自分に合った働き方を見つけられる支援

これまでの経験とスキルを活かせる支援

ポイント 🖐️

北海道の地域医療に貢献を希望したケース

【相談者の背景】

- ・ 64歳、男性医師、産婦人科専門
- ・ 現在は九州にある大学で勤務している
- ・ 定年後は、生まれ故郷の北海道に移住を希望

【相談内容】

- ・ 出身地である小樽市または札幌市に移住の予定
- ・ ずっと忙しく働いてきたので、全く何もしないのは身体によくないと思い、常勤ではなく週に数回、または月に数回でも構わない
- ・ どうせ働くなら産婦人科専門医の常勤医がいないような場所での産婦人科専門外来の手伝いができれば私が行く意味があるのかと思う



[相談窓口の対応]

- ・北海道は、少子化で分娩機能の集約が進み、「子どもを産めない地域」が広がっている（産婦人科がある道内の自治体は179市町村のうち27市町のみ）
- ・産婦人科常勤医が配置されていない医療機関には、道内三医育大学と連携して産婦人科医師が派遣されるため、医師の紹介を受けられない



そこで…

- ・がん検診（一般検診）業務や老健施設での勤務を提案



[経過]

- ・相談者からは、専門が産婦人科学と病理学であるため、一般検診医としては不適切であると感じる
- ・老健施設にも興味はあるが内科臨床等の経験が無く大変不安との回答



[相談窓口の対応]

相談者の希望条件にある「産婦人科専門医として北海道の地方での勤務」を尊重し意向に添った求人を探した



- ・道東地方の医療機関で婦人科検診医師を探しているとの情報を入手
- ・詳しく聞いたところ、当医療機関の高度検診センターの検体検査医師が来年度退職予定でありことから、婦人科検診医の業務との兼業勤務を提案

ところが...



[相談者の回答]

- ・釧路での定住は考えていない



[相談窓口の対応]



- ・定住が条件ではなく、週末の帰省交通費の支給、医師住宅の利用ができること、検体管理加算専従医師の業務内容等について詳しく説明

[現在]

- ・紹介した道東地方の医療機関にて、来年4月より勤務を決定
- ・定年退職後の再就職が困難なことを実感し、現在在住の九州に留まることも視野に入れたが、相談窓口の根気強い意向調査と医療機関への取次ぎにより、相談者の希望に添うことが実現した
- ・親身な対応に心から感謝をいただいた

ポイント 🖐️

北海道でのワークライフバランスに配慮したセカンドライフを希望したケース

【相談者の背景】

- ・ 59歳、男性医師、整形外科専門
- ・ 現在は九州にある民間病院で勤務している
- ・ 退職後は、過去に勤務経験のある北海道に移住予定

【相談内容】

- ・ 整形外科専門医、リハビリ科と骨粗鬆症認定医
- ・ 札幌市内に居住しながら、ライフワークバランスに配慮した仕事を希望
- ・ J R利用等で通勤できれば札幌市以外でも可能
- ・ 週に1回程度医療資源の乏しい地域での勤務も相談可能



[相談窓口の対応]

- ・日医女性医師バンクならびに北海道東京事務所とも情報共有しながら求人医療機関を検索
- ・札幌から通勤できる範囲内の医療機関を複数提案
- ・希望のあった「電子カルテのシステム導入」「MRI,DXA検査の有無」についての情報も提供
- ・提案した医療機関の現在の整形外科診療の状態、病院として整形外科に期待する内容、具体的な業務の内容についても調査

相談室



[現在]

- ・札幌近郊の公益法人の医療機関に就職、週5日の常勤医として勤務
- ・まだ冬場の生活を知らないなので何とも言えないが、今のところ快適に過ごしているとのこと
- ・九州の県医師会に入会しており北海道の生活に適應する自信がつくまで1年程度はそのままにしようと考えていたが、近いうちに北海道医師会への異動手続きをするつもりとのことであった



10. 令和6年度当相談窓口事業の活動内容

①

医師キャリアサポート相談窓口連絡会(8/18実施)

CNへ前年実績報告、令和6年度活動報告

②

医師キャリアサポート相談窓口利用者との懇談会(8/18実施)

当相談窓口利用者から現場の生の声を聞く

③

医学生・研修医サポート事業

北海道女性医師の会(11/23開催決定) ほか

④

医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、 病院長・管理者等への講習会(9/14実施)

テーマ:医師の働き方改革の現状～開始から半年が経って～
講師 日本医師会・常任理事 城守国斗 先生

シンポジウム:医師の働き方改革施行後の対応について
意見交換

令和6年度 医師の勤務環境の整備に関する
病院長、病院開設者、管理者等への講習会

参加費
無料

医師の働き方改革への対応セミナー

※当日は医師のみの参加を希望してください。

講師: 北海道医師会 副会長 鈴木 博和
講師: 日本医師会 常任理事 城守 国斗 先生

シンポジウム 医師の働き方改革施行後の対応について

- 1 医療法第25条第1項に基づく立入検査について
講師: 北海道保健福祉部保健医療課監事 菅原 亮 氏
- 2 適切な労務管理について
講師: 北海道労働福祉部労働安全衛生課 阿部 博文 氏
- 3 特例水準の指定申請に係るポイントについて
講師: 社会保険労務士オフィス小笠原札幌事務所 所長・社会保険労務士 本村 光 氏
- 4 特例水準の指定状況及び令和6年度スケジュールについて
講師: 北海道保健福祉部保健医療課監事 佐藤 博之 氏

※疑問を解決して頂く共有する。

日程 令和6年(2024年)
9月14日(土) 15:00 ~ 17:30

会場 グランドメルキュール札幌大通公園
2階エンプレスホール (Web併用)
(札幌市中央区北1条西1丁目1番地1)

※本講習会は、日本医師会生涯後援会の後援事業(後援)の生涯後援会(愛称)の枠から、
日本医師会生涯後援会(後援)の枠から申し込みをすることができます。
※本講習会は、医師の働き方改革に関するセミナーとして開催され、聴取料はかかりません。

お問い合わせ先: 北海道医師会 事業第二課 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1725 E-mail 2ka@mdou.jp

主催 北海道医師会、日本医師会 共催 北海道、北海道労働福祉部、北海道労働福祉部労働安全衛生センター

⑥

医学生・若手医師キャリアデザインセミナー(9/21実施)
道医若手医師専門委員会が主体となって企画、
令和6年度の話題提供は、
医師会事業と金融リテラシーについて講演、
ワークショップはキャリア形成についてグループディスカッション

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**

開催 令和6年(2024年) 9月21日(土) 15:00~17:00
会場 北海道医師会館 8階会議室(web併用)
(札幌市中央区大通西6丁目)

参加費 無料

話題提供 ※Web併用

第1部

- 1 医師会事業の紹介について (10分)
講師: 北海道医師会 副会長 鈴木 伸和
- 2 知っておきたいお金のはなし ~NISAと運用方法~ (40分)
講師: SMBC日興証券株式会社

第2部

ワークショップ ※会場のみ

自己のキャリア形成について (60分)

- 医学生・若手医師の交流
- キャリアの悩み共有
- 今後のライフプラン

北海道医師会 事業第二課 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1725 E-mail 2ka@mdou.jp

⑤

医師の就労環境改善のための臨床研修病院訪問事業
目的は、医師キャリアサポート相談窓口事業や働き方改革への
取組み等を周知し、有効に活用していただくこと。
対象は、管理者・指導医・専攻医・研修医等。

北見赤十字病院(10/30訪問決定)
旭川赤十字病院(11/8 訪問決定)



11. まとめ

- ◆日医総研の調査結果に違わず、北海道においても60代以降も就業を継続する相談が多くなっている
- ◆シルバー世代医師が希望するセカンドキャリアに合致するようコーディネーター（医師）と事務局が連携し、相談者と何度も面談・連絡を取り合い、勤務先医療機関・勤務時間・業務内容などに関して、相談者のニーズに合った支援に取り組んでいる
- ◆医療現場の実情をよく知る地元の都市医師会や全国の求人情報を持っている日医女性医師バンクと連携しながら、就業継続を希望するシニアドクターの就職マッチングを進められるのは、まさに医師会の強みである